

近現代の日本と世界 | 近代日本の社会

1 単元の概要

日本の近代産業は政府による富国強兵・殖産興業政策の下でめざましい発展を遂げていきます。この単元では、近現代の日本と世界の学習の後、近代産業の発展と北九州市の歴史を関連づけた各種テーマを設定して、グループによる課題解決学習を行います。

創業以来、わが国の重工業の発達の担い手となった「官営八幡製鉄所」の発展と変遷や日本のエネルギー資源の一翼を担った筑豊炭田などを中心に、日本の近代化と北九州市の発展について合併前の五つの市を単位としてその特徴と役割を探っていきます。

2 学習のねらいと手だて

- 明治時代の中ごろから始まった日本の産業革命の進行によって、近代産業が大きく発展し、資本主義経済の基礎が固まっていた過程を、北九州市の発展と関連付けながら理解する。
- 旧5市の特徴を通して、北九州市の発展と日本の近代産業の特徴をテーマ設定したグループ学習を展開する。特に、北九州市の地理的特色とも関連付けた調査を位置付けるようにする。



山本作兵衛の炭鉱記録画

3 指導計画(総時数9時間)

学習活動と内容	○指導・支援上の留意点 ◆展示物など	時間
I わが国の近代化の特徴と工業の発展について調べ、北九州との関わりについてまとめる。 ① 八幡製鉄所が設立された理由 ② 筑豊炭田の歴史とその役割	○ 産業革命の様子を、日清・日露戦争と関連してとらえさせる。 ○ 教科書の記述から、八幡製鉄所が設立された理由やその後の発展を考えさせる。 ○ 官営工場であった点に着目させ、政府主導の産業革命であったことに気付かせる。	1 時間
II グループ分け・課題設定を行う。 ① 調べたい課題や疑問を設定する	○ 前時の学習をもとに、調べたいことがらある程度考えさせておく。 ○ 一人が一つの旧市を調べるのが望ましい。	1 時間
III 北九州市の産業の発展の様子を調べ、わが国の近代産業と資本主義経済の発展をまとめる。 ・ テーマ館にある写真や資料を見て、 ① 北九州市の工業が飛躍的に発展した理由(八幡製鉄所の立地条件等)を調べる。 ② 旧五市の特徴やその役割を調べる。	博物館での学習 ◆ 炭鉱記録画 ◆ 大日本帝国製鐵所全景 ◆ 孫文書「世界平和」扁額 ◆ 安川敬一郎邸における孫文との記念写真 ◆ 日本鳥瞰図九州大図絵 ◆ 若松市鳥瞰図 ◆ 戸畑市鳥瞰図	1 時間
IV 発表資料を作成し、発表する。 (旧5市それぞれのテーマについて発表できるグループ編成で活動する) ① 博物館での学習のまとめを行う。 ② まとめた資料を発表する。	○ 最盛期の八幡製鉄所の粗鋼生産や門司港貿易額のがわが国におけるシェアなど、課題解決のために必要な資料を、インターネットや文献などで調べさせる。 ○ 北九州工業地帯と日本の工業化の関わりについて考察させ、まとめさせる。	3 時間
IV グループを再編成し、発表資料の作成を行う。 ① 前時で発表した資料を持ち寄り、同じ市を調べた者同士が集まり、5つのグループ(旧五市)を編成し、発表資料を作成する。 ② 各グループでまとめた資料を発表・展示し、相互評価を行う。	○ 各自で持ち寄った資料をまとめ、発表方法や形式、発信の仕方を工夫させる。 例：模造紙発表・レポート形式・新聞やポスター形式など ※ 年間授業計画等により、学習内容4までで学習計画を立てても良い。	3 時間

4 学習展開例(1時間扱い)

学習活動	○指導・支援上の留意点	◆展示物など
<p>① 北九州市の工業が発展した理由について調べよう。</p> <p>I 「石炭と鉄のみちとまち」のパネルを見て、北九州市の工業の発展の理由について調べる。</p> <p>II 「近代の北九州」のパネルをみて、筑豊炭田と八幡製鉄所の役割を考える。</p>	<p>○ 八幡製鉄所の開業とそれをエネルギー面で支えた筑豊炭田が北九州市の近代工業化の原動力となったことに着目させる。</p> <p>○ 「企業と企業家」のパネルを見て地方の企業家が北九州市の産業の発展に寄与したこと気付かせる。</p> <p>○ 製鉄と採炭の発展により、交通網(鉄道・船舶)が発達したことが都市化の大きな要因となった事に気付かせる。</p>	<p>博物館での学習 0.5時間</p> <p>◆ 筑豊の石炭と輸送 ◆ 官営八幡製鉄所 ◆ 行き交う人びとと文化 ◆ 北九州主要工場案内略図 ◆ 企業と企業家 ◆ 門司築港会社定款 ◆ 筑豊工業鉄道会社常議員当選通知 ◆ 小倉鉄道沿線名所図絵 ◆ 港湾 ◆ 鉄道</p>
<p>② 旧五市(門司・小倉・若松・八幡・戸畑)の発展について調べ、それぞれの特徴や役割について考えよう。</p> <p>I 「発展する五市のまちなみ」のパネルを見て、それぞれの町が特徴的な都市として発展していったことをまとめる。</p> <p>II 若松市・戸畑市鳥瞰図などの地図資料を見て、旧五市の発展と特色を調べる。</p>	<p>○ それぞれの市の位置や地形などの地理的要因と歴史的背景に着目し、各々の町の特徴と役割を考えさせる。</p> <p>○ それぞれの発達やその特色をまとめる中で、各市が独自に発達したのではなく、歴史的な要因や各市との関連などの側面もあることに気付かせる。</p> <p>・ 門司→国際貿易港九州の鉄道の基点 ・ 小倉→旧小倉藩の城下町→商業都市・軍都 ・ 若松→最大の石炭積出港 ・ 八幡→製鉄所 ・ 戸畑→八幡製鉄所の関連企業</p>	<p>博物館での学習 0.5時間</p> <p>◆ 若松市鳥瞰図 ◆ 戸畑市鳥瞰図 ◆ 小倉・八幡市の鳥瞰図・地図 都市化→外壁の数字 ◆ 明治22年と昭和37年の人口 ◆ 八幡町人口に占める製鉄所の従業員の割合</p>

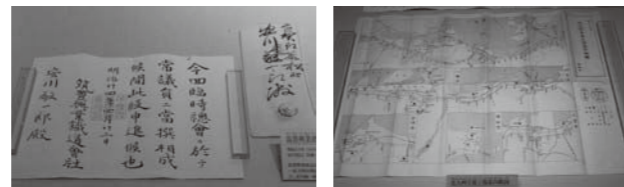
5 博物館での学習

テーマ館の「近代の北九州～石炭と鉄がつくった工業都市～」の展示を見て、北九州市の産業の発展の様子を調べよう。

テーマ館の「近代の北九州～石炭と鉄がつくった工業都市～」では、写真や展示物で北九州市の産業の発展の様子を紹介しています。これらの資料をもとに、北九州市のもとになった旧五市（門司・小倉・若松・八幡・戸畑）の発展の特色や役割を調べ、北九州市の産業、特に工業を中心に発展の様子を探りましょう。

1 北九州市の工業が発展した理由について調べよう。

「近代産業の発展」の資料から、北九州市の工業化の特色を、八幡製鉄所の立地に係る事からと、製鉄所の操業から派生する都市化の両面から考察することができます。



筑豊工業鉄道会社常議員当選通知 北九州主要工場案内略図

2 門司・小倉・八幡・若松・戸畑の発展について調べ、それぞれの特徴や役割について考えよう。

北九州市のもとになった旧五市（門司・小倉・若松・八幡・戸畑）のまちの発展の様子とその特色を調べます。

それぞれのまちは、その地理的特色や歴史的な背景から、八幡製鉄所との深い関わりをもち、あるいは影響を受けていることが分かります。それが、大正時代、昭和時代へと受け継がれており、北九州市の発展やわが国の近代化に果たした役割が見えてきます。



九州めぐり 門司から門司へ



小倉市地図



八幡市鳥瞰図



戸畑市鳥瞰図



若松港要覧

1 北九州市の工業の発展の理由について調べよう。

北九州市の発展の様子を調べてみよう。

- 「北九州の都市化」
 - ・ 石炭輸送と製鉄関連産業の発展により仕事を求めて多くの人々が集結されたことが都市化の大きな要因となったことについて記入されていれば可。
- 「近代工業の発展」
 - ・ 官営八幡製鉄所の操業が北九州の近代工業の発展の原動力となったことや筑豊炭田がエネルギー源として発展を支えた事に気付く内容であれば可。

北九州市の発展の原因を考えてみよう。

- 筑豊炭田のはたした役割
 - ・ エネルギー資源として、北九州の産業の発展の基盤となった事に気付く内容であれば可。
- 八幡製鉄所のはたした役割
 - ・ 八幡製鉄所の発展により、各種産業が発展していったことに気付く内容であれば可。

2 門司・小倉・若松・八幡・戸畑の発展の特色を調べ、それぞれのまちの役割について考えよう。

北九州市が合併する前は、門司・小倉・若松・八幡・戸畑の5つの市が各々特色のある発展をしてきました。そして、北九州市となって、それぞれが都市の機能を分担しています。そこで、それぞれの発展の特色と役割を調べ、北九州市の近代化の様子を探ってみましょう。

	《門司》	《小倉》	《若松》	《八幡》	《戸畑》
特色	<ul style="list-style-type: none"> ・ 港湾整備とそれに伴う国際貿易港として発達。 ・ 門司鉄道局が置かれ、九州鉄道の中心となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 城下町より近代都市に発展する。軍事施設や兵器工業の「軍都」でもあった。交通網の発達により北九州地方最大の商業都市となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 米・穀物・石炭の集積地から、筑豊の石炭の最大の積出港として発展する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 八幡製鉄所とその関連企業が建設され、北九州工業地帯の中心となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 八幡製鉄所の関連企業のほかの水産加工業や各種産業の工場が建設され、発展する。

北九州市の工業の発展の原因とその様子や、それぞれの都市の果たした役割を考え、まとめてみよう。

- ◆官営八幡製鉄所の操業⇒工場が立ち並ぶ⇒北九州工業地帯の発展
- ・ 八幡・・・製鉄所のある「鉄の都」
- ・ 戸畑・・・関連企業・各種産業の発展
- ・ 若松・・・筑豊炭田の積出港
- ・ 小倉・・・「軍都」および商業都市として行政・経済の中心地
- ・ 門司・・・国際貿易港、九州鉄道の中心地